

1 里山の農作業を体験

東京農業大学里山景観保全活動

東京農業大学の里山景観保全活動は七月九日・十日の二日間、村内で行われました。今回で七十回目となった活動

には学生約四十人が参加。初日は、鈴木寛重さん（馬場）の指導で富田地区の田んぼの草取りを実施しました。夜には、ホタルの観察を行い里山の自然環境と生き物の関係について学びました。



田の草取りを体験する学生ら

二日目は、豊かな土づくりの拠点として建設が進められている堆肥センター敷地内でパイプハウスづくりを行いました。このパイプハウスは、活動で収穫した農産物の保管や活動で使用する資材・農機具置き場として利用されます。

2 自然環境を学ぶ

大妻女子大学西成ゼミ・ホタルツアー



朝日山で森林の役割を学ぶ学生ら

ました。学生十一人が参加。初日は、齋須寛一さん（新宿）を講師に朝日山登山を実施。動植物を観察しながら登山を楽しみ、森林の役割について学びました。夜は夕食交流会が開かれ、落合地区で採れた野菜や郷土食を味わい、地区住民と交流を深めました。交流会の後には、ホタルを観賞し、自然環境の大切さに理解を深めました。

村との交流を行っている大妻女子大学（東京都千代田区）西成ゼミは七月九日、十日の二日間、落合地区で民泊体験を行い

た。二日目は、鈴木芳保さん（大石草）のほ場で野菜の収穫体験した後、有機農業を学びました。